実施月日	本再追	科目名	講師名	学年	整理番号	氏名	評点
平成14年6月6日	試試試	生理学(中間)	鈴木 貴美	1			

Ⅰ．下記の空欄の中に正しい言葉を入れなさい。（＊のついている脳神経は番号、名称のどちらでも可）

特殊感覚には多くの脳神経が関与するが、脊髄神経が（　　）対あるのに対し、脳神経は全部で（　　）対である。そのうち、味覚に関与する脳神経は（　　）、（　　）、（　　）の３つである。また、嗅粘膜には多くの痛覚線維が分布しているが、これらは（　　）神経に属し、この神経刺激により、涙が出たり、くしゃみが出たりする。聴覚は第（　　）脳神経が関与している。人の内耳は迷路といわれ、（①　　）と②前庭器官の２つの部分よりなる。前庭器官は３つの（　　）と２つの（　　）よりなり、前者は（　　）加速度を、後者は（　　）加速度を感知する。視覚に関するものは第（　　）脳神経である。視細胞の密度は（　　）で１番多い。従ってヒトは光の入力をこの部分に集めることにより、よく物を見ようとする。逆に全く視細胞がないために物が見えない点を（　　）と言う。瞳孔反射の１つである光反射は、第（＊　　）と第（＊　　）脳神経が関与する。これにより意識のない患者において、眼に光を当てる事により（　　）の状態を調べる事ができる。

Ⅱ．脊髄を損傷すると、感覚麻痺が見られる。各種感覚系の脊髄上行路を考え、次の問いに答えなさい。

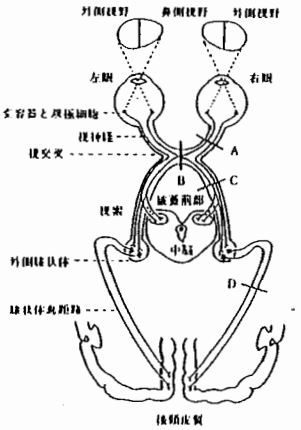
（1）脊髄があるレベルで右側だけが切断されたとき、それより下位の脊髄節が支配する領域では、次の感覚が麻痺するのは右側、左側あるいは両方かを答えなさい。

①触覚　（　　）
②圧覚　（　　）
③痛覚　（　　）
④運動覚（筋や関節の動き）　（　　）
⑤温度感覚　（　　）

（2）右側脊髄半切では、感覚とともに随意運動にも異常が見られる。
この時の運動麻痺は右、左、あるいは両側かを答えなさい。　（　　）

（3）脊髄半切で見られる以上のような運動と感覚異常の症状は、まとめて（　　）症候群と呼ばれている。
括弧内に適当な語句（人の名前）を記入せよ。

Ⅲ．下記の図は視覚路である。
Ａの部分が障害された場合の視野欠損の様子が右図に示してある。では、
Ｂ、Ｃの場所が障害されると、どのような視野欠損を生じるか。欠損部分を黒くぬりつぶしなさい。



視野欠損

	左眼	右目
例）A	○	●
B	○	○
C	○	○